

2018 年度(平成 30 年度)

## 教育課程編成委員会

それでは事務局から近況についてのご説明をお願いいたします。

事務局からご説明申します。

作品の中に細かいところに突っ込んでしまっている作品が見受けられました。昔から作品を考えると、いつも少し引いて確かめるように口を酸っぱくして言われておりました。いくつかの作品に少し引いて確かめることをすればよかった作品がありました。作品はあまり長い時間をかけて見てもらえず、短い時間でさっとわかる必要があります。いくつかの作品に良い作品もありましたが、全般的に弱い感じがしました。

->

サインデザインの世界で3秒の視認で理解できるように作れと言うのがありますがそのような話ですね。

私は求人活動もしますが面接は3秒で決まると言う企業側の意見があります。デザインも同じことだと言う気がしております。またテーマに対してぴたっと行ってない作品も見受けられました。惜しい感じがします。

プロダクト系の車などの表現はいつもと変わっていない感じがします。しかし3Dプリンターの出力は少し荒くあれでいいのかと言う感じがします。解像度を上げなければこのままでは良くないと思います。むしろ手でクレーを触っている方が良いのではないですか。切削機のほうが精度が出るのではないですか。ボードを見ると目標が高そうなのにモデルの精度が低いと言うことです。

プロダクトデザインから逃げる人達を食い止める力はあるんですが制度が問題なんですね。

ソフトは何を使っていますかライノですか。

->

ライノのもしくはソリッドワークスです。

大卒と専門学校卒では受ける企業が違うので精度を出すところをもう少し研究するほうがいいと思います。2年間しかないので企画も大事ですが精度を出すところが大切だと思います。精度を上げてある部品を作って組み上げていけば例えばロボットのようなものができるのかということ

が大切ではないでしょうか。提案するものがこのように動いて活用できるよと言うようなことです。

->

プロダクトのようなものを作っているところからうちの学校に入ってくると何でもトライして伸びていくと言う傾向があります。

作ってきた経験がものを言っているのでしょう。鉄の鑄造の作品がありましたがあれはものすごい経験ですね。

高校の方にも手作りをどんどん進めるようお願いしておくべきですかね。一方で図面だけで終わりがちの建築等ではどのような方向でしょう。

建築は今人手不足で困っています。

->

我々の学校の方には建築出身者が少ししかおりません。求人はたくさんあるんですが学生の希望者がいない状況です。建築図面が理解できる数少ない学生は自分の使える3D CADを使っている設計事務所を探しているようです。

カリキュラムは内容を触らずに人員配置を触ろうとしています。1年生が終わる春の段階から戦略的な企画をする戦略系系を始める方向です。春の時期にデ研展に向けて年間計画を立て実施してきましたが、さらに個人のセルフストラテジーを考えてもらう時期にしたいと考えております。4月になりましたら2年生はプロジェクトの8単位のうちデ研展に取り組む期間を12年合同で専任で対応し、以外の期間を外部の非常勤講師にお任せしてストラテジーとして取り組む計画を立てております。研究所全体の費用の中から品目を変更して非常勤講師に割り当てる伺いを立てているところです。

今回の展示でプロジェクトの説明ボードの中に課題研究を入れる形をとったことを学生に対する教育の形(デ研ブランド)と捉える企業がおられました。フィニッシャーとしての自分だけでなくプランナーとしてあるいはディレクターとしての自分のあり方を学生は理解していると捉えられたようです。デ研を雇用すると会社を変えてくれたと言うことだそうです。

京都の印刷会社がUVプリンター等を使いながらスマホカバーのデザインをしています。最近そのことを知りましたが、印刷から「物系」へ転換しているようでそういう会社なら就職先として合うのではないのでしょうか。ステーションナリなどへの興味からそういうところへ広がっていけば良いと思います。大学生と住み分けることができる仕事だと思います。ローランドなどはプリンターの資材などを売っていましたが「コトデザイン」を始めています。そういう目で見れば就職先として面白いのではないのでしょうか。

大学でウェブと言う枠で授業すると学生が減ります。情報デザインと言う枠では残していますが、UI UXと言う名前の方が良いのではないかと指摘されています。ウェブの有り様も変わってきました。スマホやパッドで見るのが主流となっています。

->

私の方で調べた結果もスマホで7割から8割見ていると言うものでした。

ホームページの見方がわんからまでずっと流れていくと言う形に変わったようです。中国なんかはほぼ100%スマホで見ているようです。そのような情報デザインに変わってきていると言うことでしょう。

->

本校にも学生を送って欲しいと言う求人がありました。ただし3年間教え込む中で目が出なかったら契約を続けられないと言う厳しいものでした。

デンソーが説明会に来たんですが学生たちはカーナビがデザインだと思えないようです。ビジュアルの学生が興味を示せないようです。待遇はいいのですが。

->

本校の卒業生でUXをしていた学生は大手の車の会社に引き抜かれました。

車のスタイリングよりも中の情報デザインが求められる時代になりましたね。

建築業界でいいますとサインに特化した会社が少ないため利益の上がる業務となっています。ゼネコンもサインには手を出さないためグラフィックの就職口として有効でしょう。

それにしても図面を読む力が必要では無いのでしょうか。

弊社は入社してからの教育で対応しています。必要な力はグラフィック力の方です。就職口としてうってつけではないでしょうか。

->

まとめですが高等学校ともう少し連携をすると言うことを考えております。子供の連携もそうですが教員との連携も必要だと考えております。もともと本校が目指している5年間の造形教育に立ち帰って行動していきたいと考えているところです。皆様のご意見をいただきたいと考えております。ありがとうございました。